

事業報告書

●●年 ▲ 月 ■ 日

公益信託地球環境日本基金
代表受託者 三井住友信託銀行株式会社 御中

送付先

〒111-0051

台東区蔵前3丁目17番3号インテリジェントビル8階

一般財団法人 地球・人間環境フォーラム

この報告書類に記載する事項は、助成金等の支給対象団体の選考等、貴公益信託の運営に必要な範囲内で、貴公益信託の受託者・運営委員・信託管理人及び一般財団法人地球・人間環境フォーラムが取得・利用すること、また、団体名、対象事業等の情報が、主務官庁へ提供される他、一般に公開されることについて、同意のうえ提出します。

所在地 〒110-●●● 東京都台東区×××
団体名 ●●法人 ×××
代表者 田中 太郎 印
連絡先 職名 研究員 氏名 山田 花子
電話 (03) ●●●● - ××××

公益信託地球環境日本基金の平成29年度の助成による事業を下記のとおり実施しましたので、その結果について報告します。

記

1. 事業名

○○○地域での植生再生を目指した荒廃地回復事業

(1 年目：継続の場合記入)

2. 事業の実施内容 (予定実施項目と実施・進捗状況を対応させ記入下さい)

年月	予定実施項目 (申請書の実施計画を記載)	実績・進捗状況 (数値等を使ってできるだけ定量的に記入)
●●年 ■月	現地 NGO◇◇◇、現地農業技官・森林官とともに A 村、B 村、C 村を訪問。住民への説明、事業サイトの決定。	3 村が所属する○○○県環境局、農業局での打ち合わせ (11/4 それぞれの組織の県局長、地域を担当する森林官、農業技官が参加)。 3 村を訪問。村長に説明 (11/5) 後、各村で説明会を開催 (A 村 11/8 参加者 48 名、B 村 11/9 参加者 34 名、C 村 11/9 参加者 40 名。小学校教員含む)。各村で技術を導入時に習得する 10 名を決定。それぞれ約 1ha のサイト決定。 首都にて技術を指導する Ouedrago Yacouba 氏と A 村での研修、B 村、C 村での作業計画の打ち合わせ。

●● 年 ▲月	A 村で Zai と Diguette の研修開催。	購入した資機材（金網、つるはし等）を村に運搬（12 月。運搬は現地農業省の協力により支援食料運搬トラックを利用）。 A 村での Ouedrago 氏による研修（1/17～18）。A 村から 52 名、B 村・C 村からそれぞれ 10 名参加。 1/19～20 に A 村の参加者により作業継続、金網による囲いを設置（作業参加者 延 82 名）。
▲月	B 村、C 村でのサイト設置作業。	B 村と C 村での Zai 掘削、石運搬及び Diguette 設置、金網での囲い設置作業（2/7～8）。B 村での参加者は延 56 名、C 村では 65 名。
●月	東京と大阪での活動報告会開催	東京（3/7 14～17 時、お茶ノ水）、大阪（3/10 14～17 時、淀屋橋）で活動報告および検討会を実施。広報には、〇〇大学（東京）、××大学（大阪）、JICA（本部および JICA 関西）の協力を得、東京では教員 3 名、学生 12 名、一般 10 名、大阪では教員 4 名、学生 22 名、一般 8 名が参加。
申請時と比較したときの達成割合		●●%

3. 事業の成果

活動を実施したという事実だけでなく、その活動によって何が得られ、どのような問題点が明らかになったか等、活動によって得られた成果を記入してください。期待された成果が得られなかった場合は、その理由について記入してください。また、事業の成果がわかる動画や写真は別途送付ください。

動画や写真を別途ご送付の場合、どの動画・写真を参照するのかわかるようご記載ください。

4. 助成金の収支

(1) 助成金の支出内訳 (各証憑書類に対応した支出内訳を別途エクセル等で提出)

申請書に記入した「助成金の主な使途」の「項目」に転記し、「内訳」と「金額」の欄には最終的な支出金額とそれらの内訳を項目ごとにご記入下さい。

領収書等の証憑類(コピー可) および証憑類に対応した支出詳細を別添のエクセルフォームに記入の上、ご提出下さい(別添エクセルは電子ファイルも提出)。

項目番号	項目	内 訳	金 額		
			百 万	千	円
1	交通費_渡航費	航空券、保険等		201	650
2	交通費_現地滞在費	宿泊費、日当		456	25
3	交通費_現地交通費	車両レンタル、燃料等		141	520
4	交通費_国内交通費	新幹線乗車券		33	300
5	人件費	出張、研修講師、巡回指導謝金等		37	370
6	資機材費	種子・つるはし等器材・囲い用資材購入費、研修・作業時食事代等		362	499
7	会議費	現地作業時食事代、報告会会場費等		114	304
8	事務管理費	電話・ファックス送信費、コピー代、文房具購入費等		82	920
助成金の支出合計			1	019	188
助成金額			1	000	000
予算消化率(本報告書対象期間の数値)			101.92 %		
この事業に関する他の支出				20	000
この事業に関する支出合計			1	039	188

(注) 記入に当たっては、報告書提出上の留意点をよくお読みになり、別添の書き方見本を参考にして下さい。

(2) この事業に関する総収入と内訳(基本、合計がこの事業の支出合計と同額となる)

収 入 の 内 容	金 額		
本基金助成金額	1	000	000
他の助成金(名称記載)			0
自己資金		391	88
その他			0
合 計	1	039	188

5. 事業の評価及び課題

申請時に期待されていた成果が得られたかどうかを検証し、記述するとともに、現地のステークホルダーにヒアリング等を実施し、本事業の評価に関するコメントがあればその内容等について記入してください。

A～C 村、それぞれで小学校教員の参加を得た。それぞれが関心を示し、積極的に参加していただき、自身の出身村でも同じ技術を導入したいとの意見もあった。また B 村では雨季に小学校校庭で行なう小学生による農場にて、教員の指導の下、村民の協力を得て、Zai の掘削が行なわれた。3 村で準備されたサイトには、平成 29 年度事業で計画されている、ソルガム栽培と樹木種子の播種のための準備が終了したことになる。播種する樹木種子は 11 月に購入、森林官が管理している。

3 月に開催した活動報告会では、土壌を専攻する研究者から、Zai に投入した家畜乾燥糞の代わりに堆肥を投入してみたはどうかとのアドバイスを、林学を専攻する研究者から播種する樹木種子を播種前に浸種等の処理をしてはどうかとのアドバイスをいただいた。スカイプによる◇◇◇との連絡を介して、農業局、森林局の意見も確認し、平成 29 年度の活動への反映を検討する。

6. 成果品（電子データの送付と現物の郵送をお願いします。）

・例：パンフレットや冊子、教材集、DVD の作成

名称	内容
Zai、Diguette 研修のための教材 (Ouedrago 氏監修、Zarma 語)	研修時に配布した教材。現地語表記にした上、識字教育を受けていない者を考慮して図を多用している（主に白黒印刷のため写真は利用していない）。カラー、フランス語の教材は、農業局、森林局、各村村長、小学校に提供。

（注）DVD や映像資料など、当方が編集し使用させていただく可能性があります。

・論文や雑誌・新聞等への掲載（日本だけでなく活動国のメディア掲載含む）

（助成期間終了後に掲載されたものは後日、現物と電子データ双方を郵送下さい。）

掲載誌名	掲載日	題名	内容

7. 自由記入欄（上記に書きこめない点など特にアピールしたい点や助成金に対する要望等）

以上